

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.04.18~04.29

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

4月18日(月)

■上海にR&D拠点
仏フォルシア/排ガス規制対応
仏フォルシアは、上海にエミッション・コントロール技術事業のアジア本社と研究開発(R&D)センターを開設した。中国で2012年の導入が予想される排ガス規制に対応技術の開発。(6面)

■宝钢からプレスライン受注
SUMIKURA機械
SUMIKURA機械は、中国・宝钢グループの上海宝钢国際経済貿易から鋼板をプレスで連続的に打ち抜くプランキングプレスラインを受注。加圧能力は800ト、受注額は5億5000万円。(7面)

■中国家電量販店とTV販売契約
三洋電機
三洋電機は、中国家電量販大手の国美電器と薄型テレビの長期供給契約を結んだ。期間や台数などは非公表。これまで中国での販売ルートは国美電器経由のみで、若干の取引があった。(9面)

■ノザワ、外壁材工場
瀋陽/積水ハウスと合併
ノザワは、2011年中に、積水ハウスと合併で瀋陽市に外壁材工場を建設する。投資額は約19億円で工場面積は約1万1000平方メートル。12年4月の操業。14年に中国市場で売上高20億円を見込む。(12面)

4月19日(火)

■中国での部材調達で協業
日本製鋼所と東洋機械金属
日本製鋼所と東洋機械金属は、中国での射出成形機の部材調達で協業する。4月末に業務を始める。両社で調達先を確保し、コスト削減する。共同の組織、拠点の新設なども検討する。(3面)

■漢方薬の原料、大量栽培
ツムラ/野生品を収穫転換
ツムラは、漢方薬の原料として知られる甘草(カンゾウ)の大規模栽培技術を確立した。中国北部の野生品を収穫していた。日本での栽培も検討する。中国で栽培法の特許を取得済み。(3面)

■高機能酸化防止剤、中国生産
ADEKA/年1500トン
ADEKAは、常熟市にプラスチック



急ピッチで再開発が進む台北市、右後方が台北101タワー(4月22日付最終版)

用添加剤である高機能酸化防止剤の新プラントを建設する。生産能力は年1500トンで、2013年4月に営業運転を始める。投資額は10億円。(9面)

■上海マートに常設展示場
アド・グローバル/アンテナショップ
アド・グローバルは、上海の展示場内に常設展示場「楽市楽座真」を開設する。上海マート内にオープン。中国出店を検討するアパレルや雑貨店がアンテナショップとして活用する。(19面)

4月20日(水)

■磨き帯鋼、中国で生産
伊藤忠丸紅鉄鋼/月1300トン
伊藤忠丸紅鉄鋼は、中国のコイルセンター子会社「嘉興紅志鋼板加工」で磨き帯鋼向けの冷間圧延・焼鈍を始める。月間加工能力約1300トン。冷間圧延機1基と球状化焼鈍炉5基を新設。(3面)

■加地テック、中国を攻略
中計売上高100億円/コンプレッサー軸
加地テックは、中期経営計画で、中国市場の攻略を柱にする。コンプレッサーを中心に事業展開する。塩化水素系ガスなどのリサイクル工程で用いる。最終年度売上高100億円を目指す。(7面)

■太陽光パネル、中国社と提携
スーパーツール/年内10万平方メートル
スーパーツールは、ウエストホールディングスと中国インリーグリーンエナジーホールディングとの間で、住宅用太陽光発電パネル製品の販売で業務提携した。年内10万平方メートルの販売を計画。(11面)

合意書に調印する淵上正朗コマツ取締役(左)、陳以一同済大副校長(右)



4月21日(木)

■コマツ、中国・同済大と連携
建機の機械工学・情報通信技術
コマツは、中国の同済大学と産学協同プロジェクトで合意した。建設機械の機械工学や情報通信技術での共同研究、同大の学生をコマツの中国販売子会社でインターンシップ。(3面)

■中国で加工←東京で仕上げ
羽田パイプ製造所/「日本製」で差別化
羽田パイプ製造所は、中国や東南アジア向け輸出事業を強化する。中国向けは、中国現法で加工し、日本の本社工場で完成品に仕上げる。「メード・イン・ジャパン」を刻印。(4面)

■トヨタ、中国・北米7割減産
日本製部品が不足
トヨタ自動車は、中国と北米で4月下旬から最大7割減産する。日本製の部品が不足しているため。北米の全14工場、6月3日までが通常の3割、中国の全12工場では同3〜5割の操業。(5面)

■OPMラボ、深圳に新工場
金型スプルー部品/月700本
OPMラボラトリーは、金属光造形複

東日本大震災を受け、中長期のインフラ整備計画に耐震を織り込み直す必要が(台北市街)



海外受注を意識した専門人材の育成スキームが必要だ。(深層断面=最終版)

■黒崎播磨、タタ子会社を買収
耐火物メーカー/世界4位に
黒崎播磨は、インドのタタ・スチールの子会社で耐火物メーカー、タタ・リフラクトリーズの株式51.0%を取得する。取得額は約104億円。黒崎播磨は耐火物で国内首位、世界4位に。(3面)

■東洋ゴム、タイヤ5割増体制
世界生産能力/年5000万本
東洋ゴム工業は、2015年度末、タイヤの世界生産能力を現状比約5割増の年間約5000万本に引き上げることを目指し、アジア圏で工場の増強や新設に取り組む。中国は追加増強する。(5面)

■ホンダ、インド中堅から鋼板
新興国戦略車「プリオ」
ホンダは、インドの中堅鉄鋼メーカーであるプーシャンスチールの自動車用鋼板を新興国戦略車「プリオ」に採用する。鋼材の大半をプーシャンとタタ製鉄などから購入する。(1面)



印プーシャン鋼板を「プリオ」に採用(カットモデル)

4月25日(月)

■工業製品の輸入規制改善を要請
日中韓貿易相会合/流通網回復
日本と中国、韓国は経済貿易相会合を開き、大震災によるサプライチェーン途

合加工技術による金型の樹脂流路(スプルー)部品の新工場を深圳市に建設する。月産700本以上の体制を整える。携帯電話の量産部品向け。(7面)

4月22日(金)

■大連でLED照明3倍増産
アイリスオーヤマ/月30万本
アイリスオーヤマは、大連工場に直管形LED照明の生産ラインを増設、3.3倍の月30万本に引き上げる。震災による電力不足を背景とした節電対策での需要増に対応する。(3面)

4月25日(月)

■中国で冷間鍛造
津田工業/天津に新工場
津田工業は、2012年8月をめどに中国で冷間鍛造を始める。天津市に新工場を建設し、日本から冷間鍛造用フォーマを移す。新工場に切削加工を集約し、冷間鍛造部品を一貫生産する。(7面)

■新日鉄、ブリキ製版
武漢鋼鉄と合併/233億円投資
新日本製鉄は、中国の鉄鋼大手、武漢鋼鉄集団との合併で、食料缶や飲料缶に使うブリキを中国で生産・販売する。約233億円投資。連続焼鈍とスズメッキのラインを建設。2013年夏稼働。(14面)

4月26日(火)

■カーナビ、月産5000台
クラリオン/成長市場で現地生産化
クラリオンは、日本から中国の拠点に生産移管するカーナビゲーションについて、10月に月約5000台で製造を始める。福島県から広東省の東莞工場に移管。成長する中国で現地生産化。(5面)

4月27日(水)

■エアバッグ用布で合併
東洋紡・豊田通商/月50万枚
東洋紡は、豊田通商と合併で5月に江蘇省常熟市にエアバッグ用布の製販会社を設立する。資本金は約5億円で出資比率は東洋紡70%、豊田通商30%。工場の生産能力は月50万枚。(5面)

■安川電機、中国販売5割増
サーボモーター/30万台
安川電機は、中国向けサーボモーターの販売目標を2010年度に比べて5割増の30万台に設定した。中国では生産現場の自動化、ロボット化ニーズが強まっている。位置決め機構用。(6面)

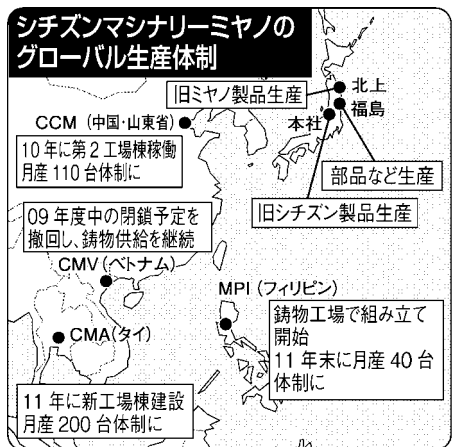
4月28日(木)

■三菱商事、台湾で参入
太陽電池用シリコンウエハー
三菱商事は、台湾で太陽電池用シリコンウエハー事業に参入する。シリコンウエハー製造会社のユーテックソーラー株式10%を取得した。取得額約6億2000万円。ユーテック親会社に供給。(3面)

■離型剤、シンガポールで生産
青木科学研究所/年産300トン
青木科学研究所は、2014年までにシンガポールに金型用の工業用油(離型剤)の工場を新設する。十数億円を投じて、年産200〜300トンの製造設備を建設する。原料を安定的に調達。(13面)

4月29日(金)

■タイに新工場棟
シチズンマシナリーミヤノ
シチズンマシナリーミヤノは、2011年末にタイにコンピューター数値制御(CNC)自動旋盤の新工場棟を建設し、月産200台体制にする。投資額は6億円。低価格機種種の主力工場に。(6面)



4月27日(水)

■三菱商事、台湾で参入
太陽電池用シリコンウエハー
三菱商事は、台湾で太陽電池用シリコンウエハー事業に参入する。シリコンウエハー製造会社のユーテックソーラー株式10%を取得した。取得額約6億2000万円。ユーテック親会社に供給。(3面)

■山洋電気、タイ・印に営業拠点
中国の販売子会社/3割増140人体制
山洋電気は、7月までにインドのチェ

4月28日(木)

■帝人化成、ポリカ樹脂増産
7万トンライン追加/年産20万トン体制
帝人化成は、浙江省嘉興市の工場でポリカーボネート樹脂を増産する。年産7万トン程度の設備1ラインを追加し、同工場での生産能力を合計で約20万トン体制に引き上げる。(11面)

■中国で酵素事業を拡大
天野エンザイム/上海に小型研究所
天野エンザイムは、中国で酵素事業を拡大する。今秋に上海市内に酵素の簡単な実験や微調整を行う小型研究所を設置する。現地での売上高を14年12月期までに倍増の5億円に。(11面)

■三洋化成、有機合成プラント
年産能力1万9000トン
三洋化成工業は、南通市の連結子会社で有機合成プラントを建設する。年産能力を1万9000トンに増強。紙や塗料用の添加剤と産業用界面活性剤、ガラス繊維用薬剤の需要増に対応する。(11面)

■中国の観光客呼び戻す
大阪市・会議所/安全アピール
大阪市と大阪商工会議所は、中国からの観光客誘致を推進する。市は多言語表記の道路案内板などを整備し、会議所は中小の商業者に接客セミナー。安全をアピールし観光客を呼び戻す。(23面)

4月29日(金)

■ブラザー、西安に新工場
工作機械・工業用マシン
ブラザー工業は、約53億円を投じ、2013年の稼働予定で中国・西安市に工作機械と工業用マシンの新工場を建設する。工作機械の年産能力を2倍の400台に。3工場を集約する。(5面)

■損保ジャパン、北京に支店
中国5カ所目
損保ジャパンの中国現地法人「日本財産保険」は、2011年度内に北京支店を開設する。日系企業が多数進出する北京市に拠点を構えることで中国事業の拡大につなげる。中国5カ所目。(11面)

■デンソー、最新型スターター展出
上海モーターショー(18日6面)
■中国にアルミ箔会社
古河スカイと日本製箔(18日10面)

TELOP

■シンガポールの半導体工場稼働
IMフラッシュ(25日9面)

■元商社マンらがコンサル会社
ベトナム進出を支援(25日23面)
■バン格拉デシュ向け1式受注
三菱重工/発電機(26日6面)
■栗本鉄工、東南アに相次ぎ現法
化学装置/南米進出も視野(26日6面)
■大王製紙、ベトナム社に出資
新工場建設(26日10面)
■半導体向け成膜材、韓国で増産
ADEKA(26日10面)
■印の水処理合併、営業を開始
神鋼環境ソリューション(26日11面)
■シンガポールで不動産開発
積水ハウス/2事業着手(26日13面)
■林業再生へ中・韓に製品輸出
森林・林業白書(27日2面)
■タイ・コジェネ会社の筆頭株主に
中部電力(27日3面)

4月29日(金)

■北陸銀行、インドネシアと提携
互いに情報交換
北陸銀行は、インドネシアの大手銀行バンク・ネガラ・インドネシアと業務協力協定を締結した。両行が互いの国に進出している顧客に投資情報などを提供。視察団や研修生の受け入れる。(11面)

■静岡銀行、東南ア進出支援
現地2行と提携
静岡銀行は、東南アジアに進出する取引先企業の支援体制を強化するため、インドネシアのりそなブルダニア銀行、ベトナムのANZベトナム銀行と業務提携を結んだ。(17面)

TELOP

■津田駒工業、インドに現法
繊維機械据え付け・保守(18日7面)
■コベルコ建機、印工場が稼働
油圧ショベル年1200台(18日7面)
■横浜でマレーシア自動車産業展
来月/ジェトロ(18日14面)
■小売業者大会の概要説明
10月/シンガポール(18日14面)
■川重、韓国企業に納入
蒸気タービン発電設備(19日6面)
■アジアー北米航路の寄港地変更
川崎汽船(19日19面)
■タイ・マレーシア株価指数に連動
野村AM、上場投信(19日23面)
■韓国GMの全株式売却
スズキ(20日5面)
■三菱重工、韓国向け受注
ガス発電設備の主要機器(21日6面)
■住重、サムスンから受注
陽子線がん治療設備(22日7面)

■東洋アルミ、製販合併
広東東陽光鉛業と製販(18日10面)
■F A ケーブル、中国生産開始
大電(19日7面)
■「エアウォーク」中国で展開
伊藤忠(21日12面)
■廃家電リサイクル工場が本稼働
住友商事とDOWA(22日17面)
■C V T、中国で生産
ジャトコ/副変速機付(25日7面)
■旋盤の中国販売、丸紅に一本化
スター精密など(25日8面)
■民生用リチウム電池、中国に軸足
パナソニック(25日9面)
■「中国通販白書」の日本語版
日本優良品協会(25日23面)
■中小100社を支援
ジェトロ/中国進出(25日23面)
■プレス加工、3年後10倍目指す
サイトウティーエム(26日5面)
■住友電工、切削工具を量産
欧・アジアにも輸出(26日6面)
■上海に駐在員事務所
ホンマ・マシナリー(26日7面)
■三菱樹脂、甘草を委託栽培
苗を春・秋ともに10万株出荷(26日10面)
■日立工機、内陸部4都市に拠点
電動工具/9カ所体制(27日6面)
■ドアモジュール、中国で生産
日立化成/日系向け(27日13面)

●ひと

中国の砂漠化防止
漢方薬の主成分で知られる甘草(カンゾウ)の大規模栽培に、中国の企業や大学と成功したツムラ。「中国の砂漠化防止につながる」と専務の久島正史さん。失敗を乗り越え、基礎研究から10年。「漢方で使うすべての甘草を栽培品にする」と、これから文字通り「収穫期」にシフトする。(20日=13面)

.....

洗練されたデザイン
北京の中国国際机床展覧会を視察した日本工作機械工業会会長の中村健一さんは「中国工作機械メーカーの野心を感じた」と気を引き締める。「機械のカバーやデザインなどが洗練された。レベルアップしていた」と評価。ただ「中身はまだまだ」と、世界生産額首位となったライバルを冷静に分析。(26日=7面)

今回は -
東日本大震災による紙面特別編成のため、5月9日付の「中国・アジアダイジェスト」面は休載します。
次回、5月16日付にまとめて掲載します。

■シンガポールの半導体工場稼働
IMフラッシュ(25日9面)
■元商社マンらがコンサル会社
ベトナム進出を支援(25日23面)
■バン格拉デシュ向け1式受注
三菱重工/発電機(26日6面)
■栗本鉄工、東南アに相次ぎ現法
化学装置/南米進出も視野(26日6面)
■大王製紙、ベトナム社に出資
新工場建設(26日10面)
■半導体向け成膜材、韓国で増産
ADEKA(26日10面)
■印の水処理合併、営業を開始
神鋼環境ソリューション(26日11面)
■シンガポールで不動産開発
積水ハウス/2事業着手(26日13面)
■林業再生へ中・韓に製品輸出
森林・林業白書(27日2面)
■タイ・コジェネ会社の筆頭株主に
中部電力(27日3面)

●ひと

全館LED
「一番エコで省エネのビル」と笑顔をみせるのは大塚商会社長の大家裕司さん。「大塚商会横浜ビル」が横浜市内に完成、5月6日稼働。韓国・ファウテクノロジーのLED照明を販売しており、「今回の導入ノウハウを拡販に生かす」。導入の成果がLED照明の拡大にも明るい材料になりそう。(18日=9面)

.....

ベトナムIT開拓
「ベトナムのITサービス市場を開拓する」と意気込むのは、NTTデータベトナム社長の柳川正宏さん。人員を3年間で3倍以上に「ハノイ近郊の工業団地に日系企業が集積している」と顧客の拡大に期待を寄せる。経済成長が続き、ITインフラの整備が見込まれるベトナムで事業基盤を拡充する。(22日=13面)